

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 基礎体力（競争力）を上げ給料と正規雇用を増やす 甘利 明（経済再生担当大臣）

1. かつての円高は、日本経済の実態に照らして明らかに行き過ぎていたと思う。EUが不安定で、米国の景気も不透明な中で、消去法で円が買われていた。それが解消した現状が、本来の姿ではないか。過去にないスピードで円安が進んだのは、抑えていた枠がはずれた、ということだろう。
2. 為替の影響で一時的に収益が増えても、企業の基礎体力が上がったわけではない。基礎体力とはつまり競争力であり、具体的には利益率に反映される。日本の企業は、極めて利益率が低い。競争力が低いために、輸入物価の上昇分を輸出物価に転嫁できず、自分でのみ込んでしまう。その分、利潤が賃金で吸収しなければならない。円安で一時的に利益が増えても、基礎体力が上がったわけではないので、まさかの時に備えて内部留保に回す、あるいは負債の返済に回す。
3. 企業が、競争力がついたと自信を持ったときに初めて、一時的なものではなく、ベアや定昇といった将来を約束するような賃上げ、あるいは正規雇用の増ができる。企業の競争力が、最も重要なのだ。技術のみならずビジネスモデルまで含めたイノベーションが必要だ。技術だけだと、技術で勝ってビジネスで負けるという構図に陥ってしまうからだ。

(参考：「週刊ダイヤモンド」2013年4月6日号)

## 経営者のための理念・哲学

### 自分とは何か

1. そもそも自分とは何か。考えてみると、自分の身体で自分が作ったものなど一つもない。全部、天地宇宙から与えられたもの、言い換えれば借りたものである。心もまた然りである。借りたものはいずれ時が来れば返さなければならない。ならば、天地宇宙から借りている自分という場をまず照らさなければならない。自分自身という場を照らさずして、自分のいる場を照らすことはできない。
2. では、自分という場を照らすにはどうすればよいか。その道標を二つの漢字が示しているように思われる。一つは「主」である。主の「、」は炎、「王」は台座。いまいる場で燃えている。燃えて生きれば自ずと周囲を照らす。それが自分の人生を自分が主人として生きる、ということである。もう一つは「孝」である。孝は親孝行のことだけではない。老人と若者、先輩と後輩が連続統一していくことである。その連続統一するところに生命の発展はある。(参考：「致知」：2013年6月号)

## 新規成長分野

### 非課税措置で沸く教育産業

1. 孫への教育資金の贈与が 1500 万円まで非課税になる。安倍政権の下、突如として決まった新制度に教育関連ビジネスが沸き立っている。祖父母などが教育資金を一括して 30 歳未満の子や孫に贈る場合、1 人につき 1500 万円を上限に贈与税を非課税にするもの。2013 年 4 月から 2015 年末までの限定措置である。
2. 教育費の対象は、学校の入学金や学資のほか、学習塾など習い事の費用も 500 万円まで対象となる。そんな中、特に恩恵を受けそうなのが、高額な授業料が必要な民間の教育サービスだ。名門小学校のお受験対策で有名な「伸芽会」の受講費用は、年間 140 万～150 万円程度。そのため、祖父母の支援を受けている比率は 7 割に上っている。

(参考：「日経ビジネス」2013年3月11日号)

## 古典に学ぶ

**功遂げて身退く**（解説）酒を満たした杯は、いつまでも持ちこたえることができない。鋭利な刃物は、折れやすい。財宝を蓄えれば、かならず狙われる。富貴になって慢心するのは、災厄を招くもとだ。成功すれば身を引くのが、天の道である。

(参考：奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」：徳間書店)